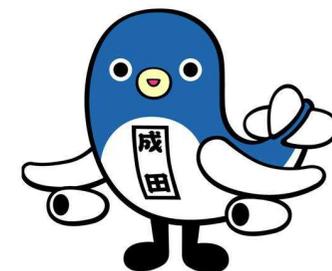




成田市議会

平成29年度議会報告会

経済環境常任委員会



経済環境常任委員会とは

成田市役所における

シティプロモーション部

環境部

経済部

農業委員会

4つの担当部局に属する事項の審査を行う委員会

公設卸売市場の再整備及び輸出拠点化推進事業

現在の市場(成田市飯仲)



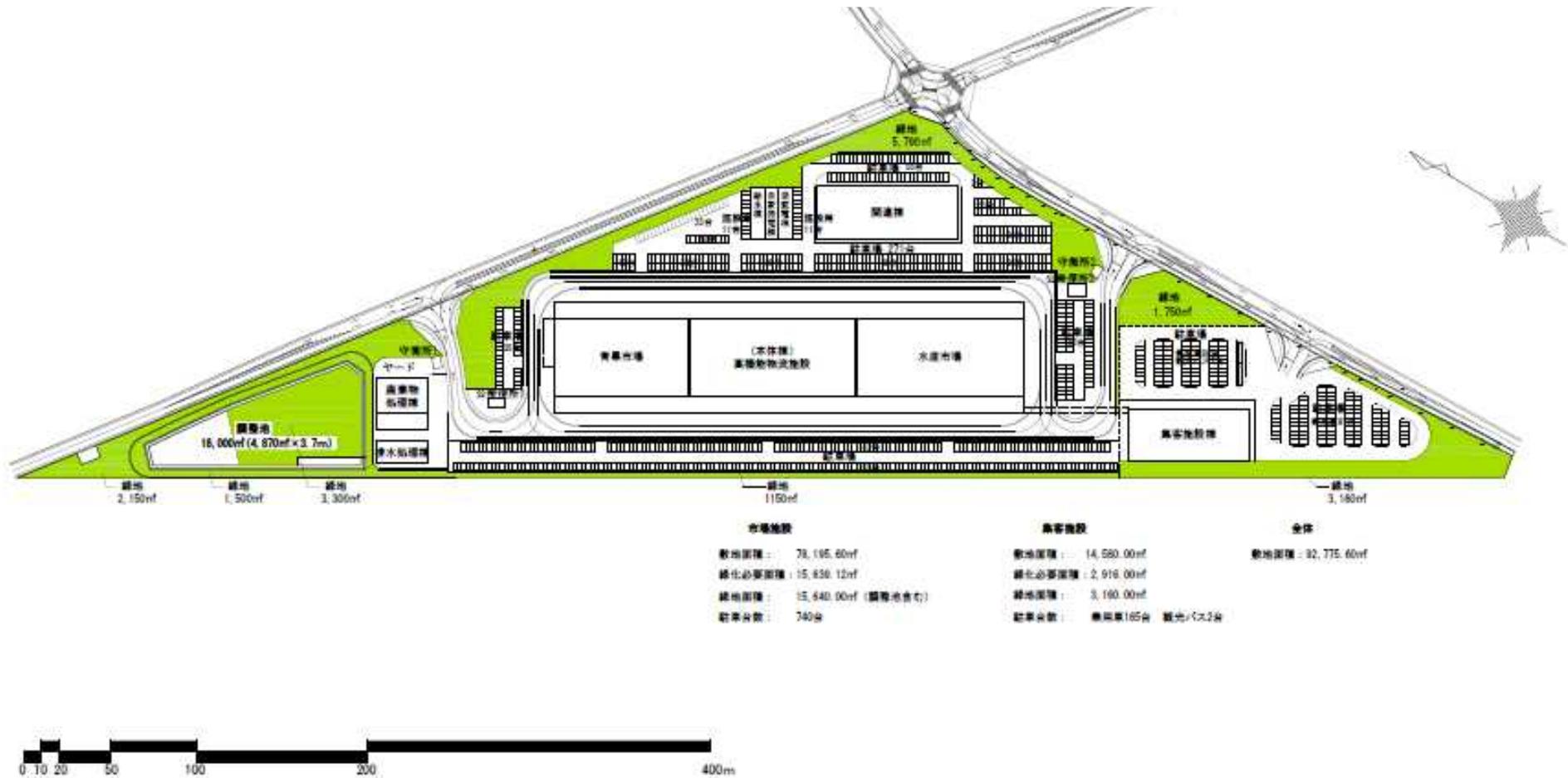
これまでの経緯

- 平成23年度 耐震診断結果を受け、卸売市場の今後のあり方の検討開始
- 25年12月 運営審議会から現地での再整備を趣旨とする答申
- 26年10月 「エアポート都市構想」で提案した市場の輸出拠点化の検討に向け
成田市場輸出拠点化研究会を設置
- 27年3月 成田市場輸出拠点化研究会
→ 成田市場輸出拠点化推進協議会に組織変更
- 28年2月 成田市公設地方卸売市場運営審議会へ再諮問
- 28年5月 「より空港に近い場所等への移転による再整備に取り組んでいく。」と
答申
- 28年5～8月 移転候補地を選定「千葉県花植木センター跡地」に決定
- 29年7月 移転用地の所有権移転完了（1億2,370万円で購入）
- 8月 当初の「分棟」から「合築」案へ変更

審議会の答申（28年5月）

- 空港に近接する立地を最大限活用し、輸出拠点化機能をもつ再整備を行うこと。これは国の成長戦略「農林水産物の輸出」とも合致している。
- そのためには、十分な面積が確保され、空港と東関道や圏央道の交通ネットワークを活用できる場所への移転による再整備に取り組んでいくものとする。
- 市場の跡地の利活用は全市的なまちづくりの観点から検討することが必要。

移転先は、花植木センター跡地 千葉県から **1億2,370万円** で購入



市場の施設整備について

74億円 → 134億5,000万円



- 国の補助金 12億8,000万円
- その他 121億7,000万円は地方債

施設整備134億5,000万円の内訳

水産棟、青果棟、
ワンストップ輸出拠点棟など

73億6,000万円

高機能物流棟のうちの加工、
物流、冷蔵・冷凍施設など
(民設→公設)

45億9,000万円

造成工事費

15億円

実施設計の委託費を増額する補正予算案

- 建築の設計に関する委託料は、当初約1億8,500万円が見込まれていた。
- 今回の補正により、建築部分と造成工事の設計費用として、約3億5,000万円ほどが想定されている。
- 補正予算案は賛成多数（賛成5：反対1）で可決。

<質疑>

どのような事情があって、高機能物流施設について、民設から公設に計画が変更されたのか？

<答弁>

当初は、機能ごとに棟を建設することを想定していたが、コールドチェーンの確保などから、一つの建物に合築することとした。加工品の需要は、国内外でますます伸びていくことが想定され、加工場や冷凍冷蔵庫、ワンストップ輸出機能等を備えた高機能物流施設は、成田市場にとって欠かすことのできない施設であり、収支についても賄えると判断して、公設で整備することとした。

<質疑>

航空便は船便よりもおよそ10倍の輸送コストがかかると言われているが？

<答弁>

船便では届かない、EU方面やアジアでも内陸国など、空港のメリットを十分生かせるような地域を対象として、高価格品や新鮮度が必要な商品などは、空輸でのメリットが十分生かせると考えている。

<質疑>

EUへの輸出を目指すのであれば、グローバルギャップという食品の安全性を示す国際認証が必要になると考えるが、市の見解は？

<答弁>

グローバルギャップ認証は、手続について期間や手数料もかかる。日本のギャップ認証や都道府県単位のギャップ認証等も出ており、現在検証している段階である。

<質疑>

設計業務を本年度中に完了し、平成30年、31年に造成工事、建設工事、平成32年にオープンのスケジュールと決定されているが、今議会で設計の追加を出すのはなぜか？また、9月議会で補正を行わなければ、予定どおりの開場は難しくなるのか？

<答弁>

当初、民設を予定していた高機能物流棟を公設とするにあたり、今後の実施設計を行うのに必要な補正である。今年度中に実施設計が終わらないと、スケジュール上、大きな影響を受けることになる。

<質疑>

総工事費134億円相当に対して、国の補助金12億円というのは、1割を下回るレベルであり、余りにも小さ過ぎる。財政負担を少しでも軽減するため、2倍、3倍の補助金を要求するべきではないか。

<答弁>

今年度の農水省の概算要求や補助の内容については、輸出拠点や新たな衛生管理の徹底に関して、新たな補助金として再編していくという報道も出ており、補助金のさらなる獲得に向けて要望等を重ねてまいりたい。

成田市の試算（取扱高）

【開場5年後の2025年】

現在 60億円 → 新設市場 190億円

うち88億円は輸出によるもの

<質疑>

想定では、新しい市場がオープンした5年後に国産の農産物の輸出額を88億円と試算されているが、この根拠は？

<答弁>

農林水産物の空輸による輸出額を483億円と見込んでおり、現在、成田空港が占めるシェア率は空輸全体の26%。483億円の26%は128億円。このうち40億円相当はすでに実績があるので、それを差し引いた額が88億円。これを全て成田市場を通していただくという積算のもとに88億円と数字を出した。

福岡市の公設卸売市場を視察しました。



<質疑>

福岡市場の場長のお話によれば、工事着工までの間に設計関係の見直しが計5回あった。やはり問題箇所が見つければ、それは修正する、見直すのが当たり前であると思うが。

<答弁>

各事業関係者の方の様々な意見を集約する中で、今年度中の設計を固めてまいりたい。